

2020年7月20日

登録販売店 各位

千葉西部生コンクリート協同組合



暑中期における生コンクリートの出荷について

近年の異常気象により、千葉県下においても最高気温が 35℃を超える猛暑日が多くなってきており、その為に荷卸し時のコンクリート温度も上昇して 35℃近辺になる事が多くなってきました。

千葉西部生コンクリート協同組合(以下、千葉西部協組)でも原材料の温度上昇により製造時のコンクリート温度及び運搬中の直射日光の影響、セメント水和進行による発熱等で従来の社内規定値「荷卸し時コンクリート温度 35℃以下」を超える可能性が高くなっており、他協組では 35℃を超えた為に受け取りされなかった事例も発生しております。

千葉西部協組でも暑中コンクリート温度対策を実施していますが確実にコンクリート温度を低下させる事が難しい状況で納入現場にご迷惑をおかけする事態の発生が考えられる事から、場合によっては生コンクリートの納入をご辞退させていただくこともご承知おきお願い申し上げます。

千葉西部協組では対策の一つとして社内規定値のコンクリート温度を 35℃以下から 38℃以下に改正して JIS 登録認証機関の認証を受けました。

つきましては登録販売店各社様におかれましても、生コンクリート納入予定の確認時、施工者様に「荷卸し時にコンクリート温度が 35℃を超える可能性がある事」及び生コンクリート工場では 38℃まで JIS 製品として納入可能と説明頂き、施工者様からご指示を頂きますようにご協力お願い致します。

以上